

令和3年度（2021年度）からの共学化について

焼津高等学校は明治35年（1902年）に松永裁縫教授所としてスタートして以来、1世紀以上にわたって「心は寛く、気は高く」の校訓の下、社会に貢献できる女性を育てることに注力し、19,000名余の卒業生を送り出してまいりました。また、平成13年（2001年）からは私学の総合学科として、その特性を女子教育に活かしてまいりました。

しかし、近年はさまざまな技術の発達だけでなく、社会を取り巻く環境や意識が急激に変化しています。そのような時代の中で、主体性や創造性、コミュニケーション能力を持ち、多様性を受容しながら男女に関係なく協働できる人材が求められています。また、2022年度からスタートする「新高等学校学習指導要領」においても「新しい時代に必要となる資質・能力の育成」が明記されています。このような力はキャリア教育を柱とした本校の総合学科の中でこそ、より身につけることができると私たちは考えております。

本校では、建学の精神・教育理念を堅持しながら、時代の変化に柔軟に対応できる生徒を男女の別なく育成するべく、令和3年度（2021年度）より、従来の「進学特修系列」を新たに「みらい探究系列」とし、男子生徒を受け入れ、男女共学化することといたします。建学の精神に示されている不易の部分は変えることなく焼津高校を改革し、一人ひとりの生徒を大切に育てていく所存でございます。皆様方には、これまで以上のご理解とご協力を賜りたく、お願い申し上げます。